



NPO法人公共の交通ラクダ (RACDA)



入会のご案内 (2025年版)

Rail & road transportation system, Amenity & Community Design Association

LRT路面電車だけでなく、歩行者・自転車・路面電車・バスなどの便利な、
人と環境にやさしいまちづくりを推進します

平成7年10月1日 路面電車と都市の未来を考える会設立 平成22年7月15日法人化

RACDA は広範な岡山のまちづくり運動の中から、平成7年に「岡山市内の路面電車の環状化」を目指して、岡山商工会議所の支援のもと市民グループを中心として設立されました。平成9年には岡山で第三路面電車サミットを開催。路面電車の日のマークの全国公募、ヨーロッパLRT視察団の派遣など、全国ネットワークの展開にも努力してきました。サミット以降は、全国ネットワークを代表して国へのロビー活動を行うほか、全国の路面電車存続活動、また地方鉄道の存続支援活動までも展開しました。

また岡山での地道な署名活動、調査提言活動のほか、岡山のバスマップの作成配布など、直接市民に役立つ活動も展開。超低床路面電車 MOMO の導入では、水戸岡鋭治氏にデザインを依頼、岡山電気軌道に寄付、さらに国に補助制度導入を働き掛け、募金 500 万円を岡山市に寄付しました。

国レベルでは新交通システム推進議連(LRT 推進議連)設立を提案、約 100 人が所属、また市民団体 43 団体とともに全国路面電車ネットワークを設立し、毎年「人と環境にやさしい交通を考える全国大会(2006年より)」を開催しています。高岡万葉線、えちぜん鉄道、富山ライトレール、和歌山電鉄などの存続、2013年「交通政策基本法」の成立、宇都宮ライトレール開業は、全国ネットワーク活動の成果です。2023年には政策提言集「クリーンモバイル岡山倉敷連星都市圏3」を発行。2024年第16回全国路面電車サミット・宇都宮には全国から150名が参加しました。また8月の第21回全国バスマップサミット福井大会にあわせて、バスマップの制作手法をハンドブックにしました。



RACDA 路面電車環状化模型

6月10



日路面電車まつり

2024 路面電車サミット宇都宮

正会員 年 5,000 円 (議決権有) 賛助会員 年 2,000 円

振込先: 中国銀行法界院支店 普通 1927718 特定非営利活動法人公共の交通ラクダ 理事 岡 将男

郵便振替 01340-8-54343 特定非営利活動法人公共の交通ラクダ

Zoom 会議 (毎週火曜日 20 時から) 会員の希望者参加可能
特定非営利活動法人公共の交通ラクダ・RACDA 事務局

〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15 (禁酒会館 3F)

Tel. & Fax 086-232-5502 会長携帯 090-3743-4778

<http://www.racda-okayama.org/>





RACDAのアクション5+1
あくまで利用者の立場
交通RACDA運動である

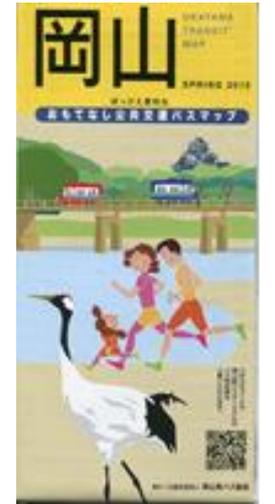
1. 最寄の駅バス停まで300m、5分
2. 岡山市内を1時間で移動できる
3. ピーク以外は座れる
4. 一日中30分に一本は走っている
5. 岡山市内を500円で移動できる
6. 乗り継ぎ拠点を便利に快適に

10年以内に実現したい

結果的にバリアフリー、環境対策、渋滞対策、そして都心活性化につながっていく。



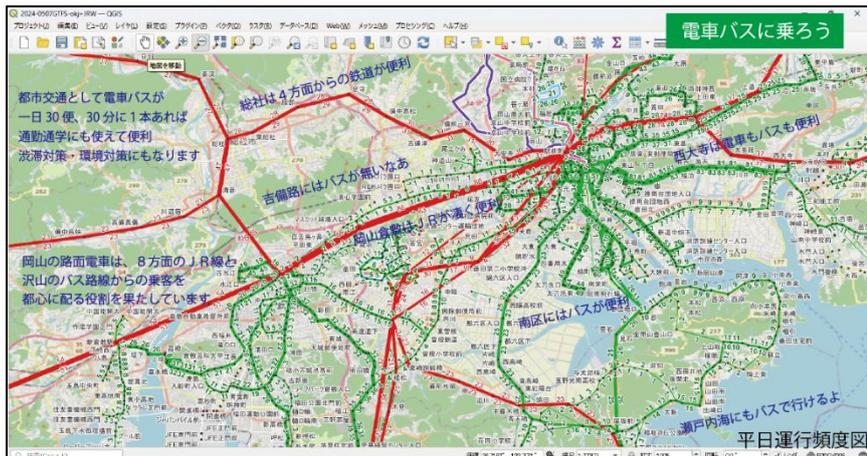
MOMOでビアガー電



↓ 毎月第一日曜日京橋朝市 RACDA ブース

RACDA 令和7年度(2025年度)の事業計画

1. 岡山倉敷連星都市圏の「車1割削減、渋滞半減、公共交通2倍」作戦
路面電車環状化実現、吉備線・赤穂線の実質ライトレール化
2. 観光資源を生かした岡山倉敷連星都市圏の魅力造り
備讃瀬戸アクセスマップ(瀬戸芸)、吉備古墳図鑑、観光コミバス
3. 「一般会計1%を電車バスに!!!」都市交通再生全国プロジェクト
交通データ整備の要望(オープンデータ・パーソントリップ)、国産低床電車開発
4. 京橋朝市出前公聴会、路面電車まつり、ワイン・ビアガー電、ラクダ創立30周年記念事業



入会申込書 正会員 賛助会員 申込み 年 月 日

氏名 住所 〒

電話 メール